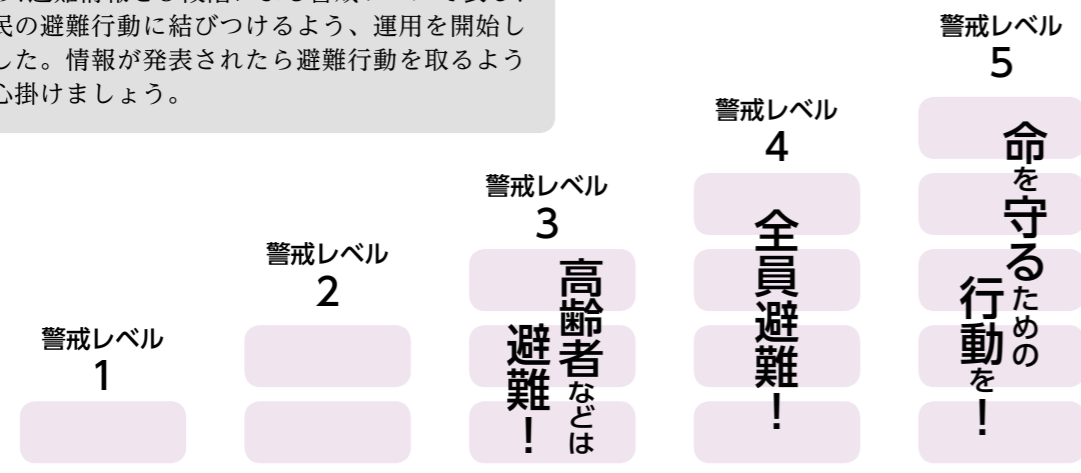


逃げ遅れゼロへ！

避難勧告に関するガイドラインが変わりました

警戒レベル 4 で 全員避難 !!

平成30年7月豪雨災害では気象警報や避難勧告など防災情報が発表されましたが、必ずしも住民の避難に結びついていない実態がありました。国は危険度や住民が取るべき行動を端的に伝えるため、避難情報を5段階による警戒レベルで表し、住民の避難行動に結びつけるよう、運用を開始しました。情報が発表されたら避難行動を取るよう心掛けましょう。



警戒レベル 5	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動を取ってください。
警戒レベル 4	速やかに避難場所に避難してください。移動が危険だと判断したら自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル 3	避難に時間を要する人は避難を開始してください。
警戒レベル 2	災害に備えハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。



広島県安芸郡坂町提供

災害はいつ起こるか分からない 日頃からの備え

問い合わせ 地域安全課(☎27444)

西日本を中心に大規模な被害をもたらした「平成30年7月豪雨災害」。中国・四国地方では72時間の雨量が400ミリを超えた地域もあり、各地では河川の氾濫、浸水害、土砂災害などが発生しました。中でも犠牲者数が最多となった広島県では土砂崩れや河川の氾濫により、甚大な被害となりました。

「平成30年7月豪雨災害」では、長時間に及ぶ記録的な豪雨により地域住民が想定していない、また災害のリスクを理解していないことにより適切な避難行動が取れなかった可能性がります。ぜひこの機会に、自分の地域を改めて理解し、しっかりと備えましょう。

地域を知る

自分たちが住んでいる地域ではどのような災害が起こり得るのか知っていますか。

市内には、鳥川・神流川・錦川・鮎川などの河川があり、市域の約7

自分の命は自分で守る

災害時に大切なことは、自分の命を守ることです。自分が助からなければ、家族を助けることもできず、友人や困っている近隣の人も助けることはできません。自分の命は自分で守る「自助」の考えを大切にもし、災害に備えてください。そのためには自分の地域を知ることが第一歩

です。また、地震時には家具の下敷きになるなどして命を落とす割合が高くなっています。倒れやすい家具を固定するなど日頃からの点検が必要です。地域の人と近所を見て回り、避難経路上での高いブロック塀などの危険箇所がないか確認することも重要です。日頃から地域の災害リスクや災害から命を守るための知識や心構えを身に付け、いざという時にも落ち着いて的確な行動を取れるよう準備しましょう。

自分だけの防災物品

災害が発生し、避難を余儀なくされる時には各家庭で備蓄している非常時持出品を携行して避難を行います。その際に必要な物品は人によって違います。赤ちゃん用品を必要とするのか、持病の薬を常備するのか、アレルギーに対応した食料を持っていくのかなど、その人に応じた防災物品を携行していくことが必要です。日頃からこれらの物品を確認し、非常時にはすぐに持ち出せるように準備をしておいてください。

災害時には突然の事態に混乱し、普段通りの行動ができないことがほとんどです。日頃からの準備をしっかり行い災害に備えましょう。

ほっとメール・ツイッターで情報収集

災害時の避難行動を適切に行うためには正確な情報を速やかに入手することが大切です。大雨や台風接近が予想される場合などの情報収集にお役立てください。

※利用は無料ですが通信料は利用者負担です

■ほっとメール

・パソコンで登録→<https://service.sugumail.com/fujioka/member/>から
・スマホなどで登録
→右QRコードから



問い合わせ 総務課(☎42221)

■ツイッター

ツイッターで藤岡市を検索し、フォローしてください。下QRコードからも進めます。



アカウント名：FujiokaCity

問い合わせ 秘書課(☎42208)

